

呉市防災教育のための手引き

「自分の命は自分で守る」力を育成するために



平成30年3月
呉市教育委員会

土砂災害に関する防災教育について

広島県は、急傾斜地や土石流の発生危険箇所が全国で最も多い県である。また、呉市は平地が狭く、住宅が山裾の急傾斜地まで張り付くように建てられたいわゆる斜面都市である。そのため、豪雨や台風による被害が多く、戦後に限っても、昭和20年枕崎台風、昭和42年豪雨災害、平成11年6月豪雨災害等、多くの土砂災害や洪水、高潮災害が発生しており、平成13年には芸予地震による被害も発生している。それらの災害に対処するために、平成12年以降に災害救助法が4度も適用されているなど、全国的に見ても極めて災害が多い。

平成26年8月20日に広島市で土砂災害が発生した。このことを教訓として、豪雨による土砂災害等に備え、「自分の命は自分で守る」力を育成するため、防災教育をより一層進めていく必要がある。

そこで、義務教育9年間を見通し、土砂災害・洪水高潮に重点を置いたカリキュラム「呉市防災教育のための手引き」を作成した。なお、作成にあたっては、防災教育にかかわる指導の内容及び時期について、学習指導要領に基づいて整理を行い、日々の教育活動全体を通して防災教育を適切に行えるようまとめた。

【防災教育のねらい（児童生徒に付けたい力）】

防災教育のねらいは、『『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育』（文部科学省 平成22年）に示した安全教育の目標に準じて、次のような3つにまとめられる。

- ア 自然災害等の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対し、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができるようにする。
- イ 地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができるようにする。
- ウ 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。

「生きる力」を育む防災教育の展開（文部科学省 平成25年）

【防災教育の目標】

小学校段階における防災教育の目標

日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全にも気配りできる児童

中学校段階における防災教育の目標

日常の備えや的確な判断のもと主体的に行動するとともに、地域の防災活動や災害時の助け合いの大切さを理解し、すすんで活動できる生徒

「生きる力」を育む防災教育の展開（文部科学省 平成25年）

- (1) 自然災害の発生メカニズムをはじめ、地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できるようにする。
- (2) 災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じた的確な判断の下に、自らの安全を確保する行動ができるようにする。
- (3) 災害発生時及び事後に、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができるようにする。

広島県 自然災害に関する防災教育の手引（広島県教育委員会 平成25年）

目次

呉市防災教育カリキュラム一覧 土砂災害等に関する学習内容の一覧表				
1年	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	E 洪水や高潮の特徴を知る	【体育】「水遊び『水の中を移動する運動遊び』」	P12
	II 対処方法を考える	A 災害が起こりやすい場所を知る	【生活】「みんなで通学路を歩こう」	P13
	II 対処方法を考える	E 学校や自宅周辺の避難所・経路を知る	【生活】「みんなで学校を歩こう」	P14
2年	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	E 洪水や高潮の特徴を知る	【体育】「水遊び『もぐる・浮く運動遊び』」	P15
	II 対処方法を考える	B 災害発生の予測・情報収集の仕方を知る	【算数】「かさ」	P16 P17
3年	II 対処方法を考える	A 災害が起こりやすい場所を知る	【社会】「市のようす」	P18
	II 対処方法を考える	B 災害発生の予測・情報収集の仕方を知る	【算数】「時間と長さ」	P19,20
	II 対処方法を考える	D 洪水や高潮から身を守る方法を知る	【体育】「水泳運動『もぐる・浮く運動』」	P21
	II 対処方法を考える	E 学校や自宅周辺の避難所・経路を知る	【社会】「学校のまわり」	P22
	III 地域の防災対策を知る	A 過去にあった地域の災害について知る	【算数】「一億までの数」	P23
4年	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	A 自然災害の種類を知る(土砂災害, 洪水災害, 高潮災害)	【社会】「防災センター見学」	P25
	II 対処方法を考える	D 洪水や高潮から身を守る方法を知る	【体育】「水泳運動『浮いて進む運動』」	P26
	II 対処方法を考える	F 災害に対する日頃の備えについて知る	【理科】「電気のはたらき」	P27
	II 対処方法を考える	F 災害に対する日頃の備えについて知る	【社会】「コラム『風水害からくらしを守る』」	P28
5年	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	A 自然災害の種類を知る(土砂災害, 洪水災害, 高潮災害) B 土砂災害の起き方を知る C 洪水や高潮の起き方を知る D 土砂災害の特徴を知る E 洪水や高潮の特徴を知る	【社会】「自然災害を防ぐ」	P29
	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	B 土砂災害の起き方を知る D 土砂災害の特徴を知る	【国語】「書き手の意図を考えながら新聞を読もう『新聞記事を読み比べよう』」	P30
	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	B 土砂災害の起き方を知る C 洪水や高潮の起き方を知る	【理科】「流れる水のはたらき」	P31
	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	B 土砂災害の起き方を知る C 洪水や高潮の起き方を知る	【理科】「天気の変化」	P32
	II 対処方法を考える	C 土砂災害から身を守る方法を知る	【体育】「けがの手当」	P33
	II 対処方法を考える	D 洪水や高潮から身を守る方法を知る	【体育】「水泳運動『安全確保につながる運動』」	P34
	II 対処方法を考える	F 災害に対する日頃の備えについて知る	【家庭】「はじめてみよう クッキング」	P35
	II 対処方法を考える	F 災害に対する日頃の備えについて知る	【家庭】「食べて元気に『ご飯とみそしるをつくろう』」	P36
	III 地域の防災対策を知る	A 過去にあった地域の災害について知る	【算数】「割合」	P37
	6年	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	D 土砂災害の特徴を知る E 洪水や高潮の特徴を知る	【国語】「文章を読んで自分の考えをもち『イースター島にはなぜ森林がないのか』」
I 呉市で起こりやすい自然災害を知る		E 洪水や高潮の特徴を知る	【社会】「世界の未来と日本の役割」	P39
II 対処方法を考える		C 土砂災害から身を守る方法を知る	【算数】「速さ」	P40
II 対処方法を考える		D 洪水や高潮から身を守る方法を知る	【体育】「水泳運動『安全確保につながる運動』」	P41
II 対処方法を考える		E 学校や自宅周辺の避難所・経路を知る	【算数】「図形の拡大と縮図」	P42
II 対処方法を考える		F 災害に対する日頃の備えについて知る	【国語】「町の未来をえがこう『町の幸福論』」	P43
II 対処方法を考える		F 災害に対する日頃の備えについて知る	【家庭】「すずしい住まい方をくふうしよう」	P44
II 対処方法を考える		F 災害に対する日頃の備えについて知る	【家庭】「洗たくをしてみよう」	P45
III 地域の防災対策を知る		C 公的援助について知る	【社会】「わたしたちの生活と政治」	P46
III 地域の防災対策を知る		C 公的援助について知る	【道徳】「うちら“ネコの手”ボランティア」	P47
7年	II 対処方法を考える	F 災害に対する日頃の備えについて知る	【技術】「非常時に役立つものを考えよう」	P48
	III 地域の防災対策を知る	A 過去にあった地域の災害について知る	【社会】「世界から見た日本の自然のすがた」	P49
8年	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	A 自然災害の種類を知る(土砂災害, 洪水災害, 高潮災害)	【社会】「自然災害と防災への取り組み」	P50
	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	A 自然災害の種類を知る(土砂災害, 洪水災害, 高潮災害)	【社会】「日本の現状とこれから」	P51
	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	B 土砂災害の起き方を知る C 洪水や高潮の起き方を知る	【理科】「天気の変化 夏の天気」	P52
	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	D 土砂災害の特徴を知る E 洪水や高潮の特徴を知る	【保健・体育】「自然災害による危険」	P53
	II 対処方法を考える	B 災害発生の予測・情報収集の仕方を知る	【理科】「日本の気象」	P54
	II 対処方法を考える	C 土砂災害から身を守る方法を知る	【数学】「一次関数」	P55
	II 対処方法を考える	C 土砂災害から身を守る方法を知る D 洪水や高潮から身を守る方法を知る	【保健・体育】「応急手当」	P56,57
	II 対処方法を考える	F 災害に対する日頃の備えについて知る	【家庭】「災害への備え」	P58
	II 対処方法を考える	G 避難しようとする人の心理を知る	【保健・体育】「自然災害による傷害の防止」	P59
	III 地域の防災対策を知る	A 過去にあった地域の災害について知る	【保健・体育】「飲料水の衛生的管理」	P60
9年	III 地域の防災対策を知る	B 地域の土砂災害対策, 洪水高潮対策を知る	【社会】「多様な環境問題と環境保全の取り組み」	P61,62
	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	D 土砂災害の特徴を知る	【理科】「自然の恵みと災害」	P63
指導資料				
リンク集				P64
気象警報の種類				P68
雨の強さと降り方				P69
土石流危険渓流・急傾斜地崩壊危険箇所・地すべり危険箇所一覧表				P70
各学校の海拔(土地家屋調査士が測量)				P71

呉市防災教育カリキュラム

項目		前期			
		1年	2年	3年	4年
I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	A 自然災害の種類を知る (土砂災害, 洪水災害, 高潮災害)				【社会】 「防災センター見学」
	B 土砂災害の起き方を知る				
	C 洪水や高潮の起き方を知る				
	D 土砂災害の特徴を知る				
	E 洪水や高潮の特徴を知る	【体育】 「水遊び『水の中を移動する運動遊び』」	【体育】 「水遊び『もぐる・浮く運動遊び』」		
II 対処方法を考える	A 災害が起こりやすい場所を知る	【生活】 「みんなで通学路を歩こう」	【生活】 「まちたんけんに行こう」	【社会】 「市のようす」	
	B 災害発生の予測・情報収集の仕方を知る		【算数】 「かさ」	【算数】 「時間と長さ」	
	C 土砂災害から身を守る方法を知る				
	D 洪水や高潮から身を守る方法を知る			【体育】 「水泳運動『もぐる・浮く運動』」	【体育】 「水泳運動『浮いて進む運動』」
	E 学校や自宅周辺の避難所・経路を知る	【生活】 「みんなで学校を歩こう」		【社会】 「学校のまわり」	
	F 災害に対する日頃の備えについて知る				【理科】 「電気のはたらき」 【社会】 「コラム『風水害からくらしを守る』」
	G 避難しようとする人の心理を知る				
III 地域の防災対策を知る	A 過去にあった地域の災害について知る			【算数】 「一億までの数」	
	B 地域の土砂災害対策, 洪水高潮対策を知る				
	C 公的援助について知る			【国語】 「はたらく犬について調べよう『もうどう犬の訓練』」	
IV 避難訓練	学校にいるときの避難訓練	【学校行事】 「土砂災害を想定した避難訓練」	【学校行事】 「土砂災害を想定した避難訓練」	【学校行事】 「土砂災害を想定した避難訓練」	【学校行事】 「土砂災害を想定した避難訓練」

中期			後期	
5年	6年	7年	8年	9年
【社会】 「自然災害を防ぐ」			【社会】 「自然災害と防災への取り組み」 「日本の現状とこれから」	
【国語】 「書き手の意図を考えながら新聞を読もう」 『新聞記事を読み比べよう』 【社会】 「自然災害を防ぐ」 【理科】 「流れる水のはたらき」 「自然の恵み」			【理科】 「天気の変化 夏の天気」	
【社会】 「自然災害を防ぐ」 【理科】 「流れる水のはたらき」 「天気の変化」			【理科】 「天気の変化 夏の天気」	
【国語】 「書き手の意図を考えながら新聞を読もう」 『新聞記事を読み比べよう』 【社会】 「自然災害を防ぐ」	【国語】 「文章を読んで自分の考えを 持とう」『イースター島にはなぜ 森林がないのか』 【算数】 「速さ」		【保健・体育】 「自然災害による危険」	【理科】 「自然の恵みと災害」
【社会】 「自然災害を防ぐ」	【国語】 「文章を読んで自分の考えを 持とう」『イースター島にはなぜ 森林がないのか』 【社会】 「世界の未来と日本の役割」		【保健・体育】 「自然災害による危険」	
			【理科】 「日本の気象」	
【体育】 「けがの手当」	【算数】 「速さ」		【数学】 「一次関数」 【保健・体育】 「応急手当」	
【体育】 「水泳運動『安全確保に つながる運動』」	【体育】 「水泳運動『安全確保に つながる運動』」		【保健・体育】 「応急手当」	
	【算数】 「図形の拡大と縮図」			
【家庭】 「はじめてみようクッキング」 「食べて元気に『ご飯とみ そしるをつくろう』」	【国語】 「町のみらいをかんがえよう」 『町の幸福論』 【家庭】 「すずしい住まい方をくふうし よう」 『町を住みかたで』	【技術】 「非常時に役立つものを 考えよう」	【家庭】 「災害への備え」	
			【保健・体育】 「自然災害による傷害の 防止」	
【算数】 「割合」		【社会】 「世界から見た日本の自然 のすがた」	【保健・体育】 「飲料水の衛生的管理」	
			【社会】 「多様な環境問題と環境 保全の取り組み」	
	【社会】 「わたしたちの生活と政治」 【道徳】 「うちら“ネコの手”ボランテ ィア」			
【学校行事】 「土砂災害を想定した 避難訓練」	【学校行事】 「土砂災害を想定した 避難訓練」	【学校行事】 「土砂災害を想定した 避難訓練」	【学校行事】 「土砂災害を想定した 避難訓練」	【学校行事】 「土砂災害を想定した 避難訓練」

土砂災害等に関連する学習内容の一覧

小学校 1 年生

教科	単元	「土砂災害」「洪水・高潮」に関する内容	ページ
生活	「みんなで通学路を歩こう」	・ 通学路にある危険箇所を知り，対処方法を考える。	1 3
	「みんなで学校を歩こう」	・ 非常口，避難経路，AEDや消火器の場所を知る。	1 4
体育	「水遊び『水の中を移動する運動遊び』」	・ 水の流れの速さと強さを知る。 ・ 膝まで水位があると危険であることを知る。	1 2

小学校 2 年生

教科	単元	「土砂災害」「洪水・高潮」に関する内容	ページ
算数	「かさ」	・ Lの単位の学習を通して、1日に必要な飲料水の量を知る。	17
生活	「まちたんけんに行こう」	・ 安全マップ作りを通して、川や水路・崖等の危ない場所を確かめる。	16
体育	「水遊び『もぐる・浮く運動遊び』」	・ 水の流れの速さと強さを知る。 ・ 膝まで水位があると危険であることを知る。	15

小学校 3 年生

教科	単元	「土砂災害」「洪水・高潮」に関する内容	ページ
国語	「はたらく犬について調べよう『もうどう犬の訓練』」	<ul style="list-style-type: none"> 災害救助犬について調べる。(土砂災害等で行方不明になった被災者を探す犬) 	24
社会	「わたしたちのまち みんなのまち」 ①学校のまわり ②市のように ・ハザードマップの紹介	<ul style="list-style-type: none"> 学校のある地区の特色ある地形や土地利用の様子などから、危険な場所を確かめ、避難所の種類や避難経路を知る。 呉市の様子を写した航空写真を見て、自然災害の起こった場所に共通することを知る。 	22 18
算数	「一億までの数」 「時間と長さ」	<ul style="list-style-type: none"> 過去の災害資料(6.29豪雨災害)から、被害の大きさを知る。 避難するときの時間と道のりを求めることができる。 避難するときの道のりを求めることができる。 	23 19 20
体育	「水泳運動『もぐる・浮く運動』」	<ul style="list-style-type: none"> 洪水や高潮から身を守るために、疲れず長く浮くためのコツを知る。 	21

小学校 4 年生

教科	単元	「土砂災害」「洪水・高潮」に関する内容	ページ
社会	コラム「風水害からくらしを守る」	・ 風水害からくらしを守るために、どのような取組をしているのか知る。	28
	「防災センター見学」	・ 通報が入ると、どこからどのようなところに連絡が行くか知る。 ・ 自然災害について知る。	25
理科	「電気のはたらき」	・ 災害時に必要な、懐中電灯の仕組みについて知る。	27
体育	「水泳運動『浮いて進む運動』」	・ 洪水や高潮から身を守るために、泳ぐときの呼吸法を知る。	26

小学校 5 年生

教科	単元	「土砂災害」「洪水・高潮」に関する内容	ページ
国語	「書き手の意図を考えながら新聞を読もう『新聞記事を読み比べよう』」	・ 平成 26 年広島市土砂災害の新聞記事をもとに、土砂災害の起き方を知る。	30
社会	「自然災害を防ぐ」	・ 土砂災害、洪水、高潮等、日本で起こった自然災害について調べる。	29
算数	「割合」	・ 広島県の土砂災害の統計データから割合の意味について理解することができる。	37
理科	「流れる水のはたらき」	・ 長雨や集中豪雨がもたらす川の増水による洪水について知る。	31
	「天気の変化」	・ 長雨や集中豪雨、台風等の気象情報から土砂災害、洪水高潮について知る。	32
家庭	「はじめてみよう クッキング」	・ 用具や食品の安全な取扱方が分かり、災害に対する備えができる。	35
	「食べて元気に『ご飯とみそしるをつくろう』」	・ 非常時でのご飯とみそ汁を調理することができる。	36
体育（保健）	「けがの手当」	・ 災害でのけが人が出たときの対処の仕方について考える。	33
	「水泳運動『安全確保につながる運動』」	・ 洪水や高潮から身を守るために、着衣のまま水の中に入ったときの特性を知る。	34

小学校 6 年生

教科	単元	「土砂災害」「洪水・高潮」に関する内容	ページ
国語	「文章を読んで自分の考えを持つ『イースター島にはなぜ森林がないのか』」	・ 土がむき出しになると、土が流れやすくなって土砂災害が発生することを知る。森林は水を蓄える働きがあることを知る。	38
	「町の未来をえがこう『町の幸福論』」	・ 災害時にすばやく互いに助け合えるためのコミュニティ活動が必要だということを知る。	43
社会	「わたしたちの生活と政治」	・ 災害が発生したときの緊急対応の仕方を知る。	46
	「世界の未来と日本の役割」	・ 海面の上昇で海にしずむ可能性がある国があることを知る。	39
算数	「速さ」	・ 土石流が到着するまでの時間を計算で求めることができる。	40
	「図形の拡大と縮図」	・ 縮図を利用して、避難所までの実際の距離を求めることができる。	42
家庭	「すずしい住まい方を考えよう」	・ 避難先でも電気を使わないで涼しくなる方法を考えることができる。	44
	「洗たくをしてみよう」	・ 避難時でも手洗いで洗濯する方法を理解し、実践することができる。	45
体育	「水泳運動『安全確保につながる運動』」	・ 洪水や高潮から身を守るために、着衣のまま水の中に入ったときの特性を知る。	41
道徳	「うちら“ネコの手”ボランティア」	・ 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることを知る。	47

中学校 7・8・9 年生

教科	単元	「土砂災害」「洪水・高潮」に関する内容	ページ
社会	【地理的分野】 【7年】 「世界から見た日本の自然のすがた」	・ 呉市で過去にあった自然災害について知る。	49
	【8年】 「自然災害と防災への取り組み」	・ 日本で起こる自然災害にはどのような種類があり、それを防ぐために、どのような努力がなされているかを知る。	50
	【8年】 「多様な環境問題と環境保全の取組（九州地方）」	・ 九州地方では自然環境を保全するためのどのような取組が行われているか知る。	61 62
	【歴史的分野】 【8年】 ・ 日本の現状とこれから	・ 実際に起こった自然災害に触れる機会を増やすことで、自然災害に対する理解を深める。	51
数学	【8年】 「一次関数」	・ 土石流が到着するまでの時間を一次関数の式で表すことができる。	55
理科	【8年】 「天気の変化 夏の天気」	・ 積乱雲が発生すると急激な降雨になるということを知る。	52
	「日本の気象」	・ 台風や豪雨をもたらす自然災害について知る。	54
	【9年】 「自然の恵みと災害」	・ 地域の自然災害や地球規模の自然災害の様子を知る。	63
保健・体育	【8年】 「飲料水の衛生的管理」	・ 飲料水の水質については、一定の基準が設けられていることを知る。	60
	【8年】 「自然災害による危険」	・ 自然災害は、生命や生活に大きな危険をもたらすことがあることを知る。	53
	【8年】 「自然災害による傷害の防止」	・ 自然災害による負傷を防ぐためにできることを知る。	59
	【8年】 「応急手当」	・ 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを知る。	56 57

技術・家庭	【7年・技術】 「非常時に役立つものを 考えよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時にはコンセントからの電源が使えなくなることがあるので、様々な電源が使えるようにしておくことと役に立つことを知る。 	48
	【8年・家庭】 「災害への備え」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭内でできる防災対策について知る。 	58

水遊び「水の中を移動する運動遊び」

関連項目	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	E 洪水や高潮の特徴を知る			
指導する学年	1 学年	教科・領域	体育	時数	5, 6 / 10
目標	まねっこ遊びやリレー遊びなどの行い方を知るとともに、いろいろな姿勢で歩いたり、自由に方向や速さを変えて走ったりすることができるようにする。				
防災教育の視点	水の流れの速さと強さを知る。 膝まで水位があると危険であることを知る。				
指導資料					
学習の展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動をする。 ○ めあての確認をする。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ バディで並ぶことができるようにする。 	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">めあて 水の中で体をしっかり動かそう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水の中を移動する運動遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・水につかっただの水かけっこ、まねっこ遊び ・水につかっただの電車ごっこ、リレー遊び、鬼遊び 			<ul style="list-style-type: none"> ○ しっかりと水中で鼻から息を吐かせる。 ○ できない児童には、教師が手を持って安心感をもたせる。 ○ 水中で力が抜けない児童には、水への恐怖心が減るような声かけをしたり、体を支えたりする。 ★ 水の流れを体感させることで、自然災害時における水に対する警戒心をもたせる。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">まとめ 体の力を抜くと水の中でもしっかり動ける。</div>			<ul style="list-style-type: none"> ★ 大雨や高潮のときには、川、用水路、海岸などの危険な場所に近付かないことを理解させる。 	

※高潮…台風や発達した低気圧の影響で気圧が下がり、海面が吸い上げられ上昇したり、風による海水の吹き寄せ効果のため、海面が異常に上昇したりする現象。

みんなで通学路を歩こう

関連項目	Ⅱ 対処方法を考える	A 災害が起こりやすい場所を知る			
指導する学年	1 学年	教科・領域	生活	時数	2, 3 / 4
目 標	通学路の危険な場所や, 安全な登下校の仕方について確認する。				
防災教育の視点	通学路にある危険箇所を知り, 対処方法を考える。				
指導資料	・防災マップ ・通学路の地図				
学習展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通学路にあるものや出会う人を確認する。 ○ 通学路を通るときの約束事を確認する。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 通学路にある施設やお店, 横断歩道などの写真と出会う人の写真を提示し, めあてをもたせやすくする。 ○ 決められた道をみんなで並んで歩くことを指導する。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 通学路を探検し, どんな場所が危ないのかわかり, 安全に登校するための約束を確認しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道路や横断歩道で気を付けることを確認する。 ○ 雨が降ったときに気を付けることを確認する。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断歩道の正しい渡り方を指導する。 ○ 歩道のない道路や, 歩道の歩き方を指導する。 ★ 雨が降ったときに, 川や, 道路わきにある溝の水かさが増え, 近付くと危険であることを指導する。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 危険なことがあったときの対処方法を確認する。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 困ったときはすぐに大人に伝えるように指導する。 ○ 防犯ブザーの音が出ることを確かめさせる。 ○ 地震がおきたら頭を守って, 塀などから離れることを指導する。 ○ 地震などが起きたときの約束事確かめさせる。 	

みんなで学校を歩こう

関連項目	Ⅱ 対処方法を考える	E 学校や自宅周辺の避難所・経路を知る			
指導する学年	1 学年	教科・領域	生活	時数	1 / 1
目 標	教師が引率して学校の校舎内を見て歩き、施設や人に関心をもち、学校生活に必要な場所や、安全に気を付ける場所などに気付くことができるようにする。				
防災教育の視点	非常口，避難経路，AEDや消火器の場所を知る。				
指 導 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・校舎内の教室配置図 ・校区内各地区の通学路地図 				
学習の展開	学習活動		指導上の留意点		
導入	○ 学校にあるものや，行ったことのある場所を話し合う。		○ 「行ってみたいな」というつぶやきを取り上げて全体に広げ，学校探検への意欲を高める。		
展開	○ めあてを確認する。		○ 学校生活を送る上で必要な場所を中心に回る。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> めあて 学校探検して，学校生活に必要な場所や安全に気を付ける場所にくわしくなろう。 </div>				
	○ 教師が引率し，学校を歩く。		★ 防火扉，消火栓，消火器，AEDにも目を向けるよう指導する。		
	○ 学校で見付けたことを話し合う。		○ 気付いたことを自由に発表させるとともに，発言内容などから，非常口，消火栓，消火器，AED，避難経路，避難所にも目を向けられるようにする。		
まとめ	○ 校内の地図を見て，防災設備や歩いたコースを確認する。		○ 防災設備や避難経路などを確認することを通して，安全意識を高める。		

※避難路・避難経路…避難目標地点まで最も短時間で，かつ安全に到達できる主要道路で市町村が指定するものを「避難路」といい，その他の道路で住民が指定するものを「避難経路」という。

水遊び「もぐる・浮く運動遊び」

関連項目	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	E 洪水や高潮の特徴を知る			
指導する学年	2 学年	教科・領域	体育	時数	5, 6 / 10
目 標	石拾いや伏し浮きなどの行い方を知るとともに、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろな姿勢でもぐったり浮いたりすることができる。				
防災教育の視点	水の流れの速さと強さを知る。 膝まで水位があると危険であることを知る。				
指導資料					
学習の展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	<input type="radio"/> 準備運動をする。			<input type="radio"/> バディで並ぶことができるようにする。	
展開	<input type="radio"/> めあての確認をする。				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて 水に浮いたりもぐったりして、遊んでみよう。 </div> <input type="radio"/> 浮く・もぐる運動遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・水中でのじゃんけん、にらめっこ、石拾い、輪くぐりなどのもぐる遊び ・くらげ浮き、伏し浮き、大の字浮きなど浮く遊び ・バブリングやボビング 			<input type="radio"/> しっかりと水中で鼻から息を吐かせる。 <input type="radio"/> バディやグループで励ましやアドバイスの声をかけさせる。 <input type="radio"/> できない児童には、教師が手を持って安心感をもたせる。 ★ 水の流れを体感させることで、自然災害時における水に対しての警戒心をもたせる。 ★ 大雨や高潮のときには、川、用水路、海岸などの危険な場所に近付かないことを理解させる。	
まとめ	<input type="radio"/> 学習のまとめをする。				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> まとめ 水の中では力を抜くと浮きやすい。 </div>				

※高潮…台風や発達した低気圧の影響で気圧が下がり、海面が吸い上げられ上昇したり、風による海水の吹き寄せ効果のため、海面が異常に上昇したりする現象。

まちたんけんに行こう

関連項目	Ⅱ 対処方法を考える	A 災害が起こりやすい場所を知る			
指導する学年	2 学年	教科・領域	生活	時数	1 / 4
目 標	まちたんけんを通して、道路・崖等の危ない場所を確かめさせる。				
防災教育の視点	安全マップ作りを通して、川や水路・崖等の危ない場所を確かめる。				
指 導 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校区内の地図 ・ 写真（雨が降ったときの校区内にある川や排水溝の様子） ・ 指導用画像（写真で見る平成 11 年 6.29 豪雨災害写真 2 がけ崩れ災害編） 				
学 習 展 開	学習活動		指導上の留意点		
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の通学路に赤線を引き、気付いたことを発表する。 ○ めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 通学路を歩いていて危険だと思う場所を確かめ、気を付けることをまとめよう。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の通学路を通るときに見えるものを想起させ、めあてをもたせやすくする。 		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気を付けることについて話し合う。 ○ 大雨が降って崖が崩れた写真や、川や排水溝の水が増している写真、道が冠水している写真を見て、校区の危険な場所を確かめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 呉市では警報が出たときは学校が休校になることや、保護者に学校に迎えに来てもらうようになっていることを確認する。 ★ 登下校中に雨が降っているときに注意する事だけでなく、家にいる時に大雨が降ったときの事も考えさせるようにする。 ○ 家にいるときも大雨が降るときは2階にいる方がよいことを伝える。 		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合ったことをもとに、危険なことに出会わないよう自分が気を付けることをまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体の話し合いで学習したことをもとに振り返るように助言する。 		

※崖崩れ…降雨時に地中にしみ込んだ水分により不安定化した斜面が急激に崩れ落ちる現象。

かさ

関連項目	Ⅱ 対処方法を考える	B 災害発生の予測・情報収集の仕方を知る			
指導する学年	2 学年	教科・領域	算数	時数	5 / 5
目 標	身の周りの入れもの探しを通して，1 L の量感をつかむ。				
防災教育の視点	L の単位の学習を通して，1 日に必要な飲料水の量を知る。				
指導資料	・ 1 L ます				
学習展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな問題かを確認する。 ・ いろいろな入れ物に，1 L と思うかさの水を入れてみよう。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 準備した入れものに 1 L の水を予想させてから入れさせ，1 L ますで量りとらせる。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1 L の水はどれくらいの量か，いろいろな入れ物に入れて調べよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな入れ物に 1 L の水を入れ，どれくらいの深さになるかを調べる。 ○ 身の周りの入れ物で，1 L くらいの水が入る入れものを探す。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 鍋ややかん，ジュースや牛乳の入れ物を用意しておく。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>まとめ 1 L は，牛乳パックで調べることができる。</p> </div>			<ul style="list-style-type: none"> ★ 1 日に必要な飲料水が，3 L であることを確認する。 	

市のようす

関連項目	Ⅱ 対処方法を考える	A 災害が起こりやすい場所を知る			
指導する学年	3 学年	教科・領域	社会	時数	1 / 1
目 標	呉市の特色のある地形，土地利用の様子，主な公共施設などの場所，交通の様子，古くから残る建造物の様子などを調べ，呉市の地理的環境について理解する。				
防災教育の視点	呉市の様子を写した航空写真を見て，自然災害の起こった場所に共通することを知る。				
指導資料	・教科書 ・くれの社会科学習 ・ハザードマップ ・写真で見る平成 11 年 6. 29 豪雨災害写真 2 がけ崩れ災害編				
学習展開	学習活動		指導上の留意点		
導入	○ めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> めあて 呉市で，災害が起こりやすい場所はどこだろう。 </div>		○ 警察署，消防署，大きな公園や病院，学校を地図で確認する。		
展開	○ 呉市の地図を見て，公共の施設を確認する。		★ 呉市は山に囲まれている形であることや，斜面が急な所に家がたくさん建っていることを理解させる。		
	○ 呉市で過去にあった大雨の被害を航空写真等で紹介し，被害が大きかった場所とそうでない場所の違いは何かを話し合う。				
	○ 天気予報を見ているときに，台風や前線の影響で，呉市に大雨が降るといふ予報が出されたらどうするか考える。		○ 呉市に大雨が降ると予報が出されたとき，どのような行動をとればいいのか確認する。		
	○ 地域ごとに作られているハザードマップを見て，危険な個所を確認する。		○ 家にいるときも大雨が降るときは 2 階にいる方がよいことを確認する。		
まとめ	○ 話し合ったことをもとに，大雨が降ったときに自分が気を付けることをまとめる。		○ 全体の話合いで学習したことをもとに振り返るように助言する。		

※前線…寒気団と暖気団との境界線で，風向，風速の変化や降水を伴っていることが多い。前線はその動きと構造によって温暖，寒冷，閉塞，停滞の 4 種類に分けられる。

時間と長さ①

関連項目	Ⅱ 対処方法を考える	B 災害発生の予測・情報収集の仕方を知る			
指導する学年	3 学年	教科・領域	算数	時数	1 / 9
目 標	2つの時刻を知って、その間の時間を求める。				
防災教育の視点	避難するときの時間と道のりを求めることができる。				
指導資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模型の時計 ・ 挿絵の拡大図 ・ 時刻を目盛った数直線 				
学習展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな問題かを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ あすかさんは、9時50分に家を出て、10時25分に避難所の学校に着きました。かかった時間はどれだけのですか。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題を読ませ、題意をつかませる。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて 時間について調べよう。</div> ○ 自分で考える。 ○ みんなで、時間について話し合う。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 挿絵を見せながら、あすかさんが家を出た時刻と、学校に着いた時刻について把握させる。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">まとめ 時間を調べるには、ちょうどの時刻や12時を区切りにして考えるとよい。</div> 			<ul style="list-style-type: none"> ★ 避難に〇〇分かかることを考えることができる。 	

時間と長さ②

関連項目	Ⅱ 対処方法を考える	B 災害発生の予測・情報収集の仕方を知る			
指導する学年	3 学年	教科・領域	算数	時数	5 / 9
目 標	長さの単位 k m を知り，道のりを k m や m で表す。				
防災教育の視点	避難するときの道のりを求めることができる。				
指導資料	・教科書（あすかさんの家から避難所である学校までの拡大した略地図）				
学習展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな問題かを確認する。 ○ めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> めあて 長い長さの単位について調べよう。 </div>			<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題を読ませ，題意をつかませる。 ○ 挿絵を見せながら，本時は長さについて調べることを伝える。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で考える。 ○ みんなで，道のりについて話し合う。 ○ 自宅から避難所である学校までの道のりを変えて確かめる。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 道にそって測った長さを「道のり」という事を理解させる。 ○ 道のり等を表すときの長さの単位 k m を理解させる。 ○ 1000m を 1 k m と書き，「1 キロメートル」と読むことを確認する。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> まとめ 長い道のりの単位は k m で表すことができる。 </div>			<ul style="list-style-type: none"> ★ 家から避難所までの道のりは○ k m ○ m あることを知る。 	

水泳運動「もぐる・浮く運動」

関連項目	Ⅱ 対処方法を考える	D 洪水や高潮から身を守る方法を知る			
指導する学年	3 学年	教科・領域	体育	時数	5, 6 / 10
目 標	もぐる・浮く運動の行い方を知るとともに、呼吸を調整しながらいろいろなもぐり方をしたり、背浮きの姿勢で浮いたり、簡単な浮き沈みをしたりすることができるようにする。				
防災教育の視点	洪水や高潮から身を守るために、疲れず長く浮くためのコツを知る。				
指導資料					
学習の展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	○ 準備運動をする。			○ バディで並ぶことができるようにする。	
展開	○ めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> めあて いろいろなもぐり方をしたり、浮いたりしよう。 </div> ○ 水慣れをする。 ○ もぐる・浮く運動をする。 ・プールの底にタッチ、股くぐり、変身もぐりなどのいろいろなもぐり方 ・背浮き、だるま浮き、変身浮きなどのいろいろな浮き方 ・だるま浮きやボビングなどを活用した簡単な浮き沈み			○ 自分の課題にあった場で練習させる。 ○ バディでどこを見てほしいか伝え合い、お互いを見ながら練習をさせる。 ○ どのように体を動かせば良いか、動きのポイントが具体的に分かりやすくイメージできる言葉がけをする。	
まとめ	○ 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> まとめ 大きく息を吸い込み全身の力を抜いて浮く。 </div>			★ いろいろなもぐり方や浮き方をすることができる。	

学校のまわり

関連項目	II 対処方法を考える	E 学校や自宅周辺の避難所・経路を知る			
指導する学年	3 学年	教科・領域	社会	時数	10, 11 / 11
目 標	学校のまわりの特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所、交通の様子、古くから残る建造物の場所などを調べ、身近な地域の様子を理解する。				
防災教育の視点	学校のある地区の特色ある地形や土地利用の様子などから、危険な場所を確かめ、避難場所の種類や避難経路を知る。				
指 導 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・くれの社会科学習 (P. 11～19) ・航空写真 ・校区の全体地図 				
学習の展開	学習活動		指導上の留意点		
導入	○ 学校のまわりを撮った航空写真や校区の全体地図を見て、気付いたことを発表する。		★ 警察、消防署、公園、病院、学校、津波避難ビルを地図で確認する。		
展開	○ めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて 学校のまわりの様子を調べ、安全な避難場所の種類や避難経路を考えよう。 </div> ○ 航空写真や校区の全体地図を見て、自分が住んでいる場所や日常的に行動している範囲を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分がいる場所ごとに避難経路を色分けして、自分のマップに記入する。 ○ グループごとに避難場所や避難経路を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとのグループに分かれ、どの道を通って避難したらよいかを自分の考えをもとに話し合う。 ○ 話し合ったことをグループごとに代表が発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが参考になることをメモしながら聞く。 		○ 自分のいる場所から一番近い避難所を見つけ、場所ごとに色分けをしながら自分の避難経路をマップに書き込むように指示する。 ○ それぞれが考えた避難場所や避難経路をもとに話し合うように助言する。 ○ 自然災害が起こったとき、危険なので通らない方がよい場所があれば書き込むように指示する。 ○ 他のグループに伝わるように説明するように指示する。		
まとめ	○ 学習のまとめをする。 ○ 話し合ったことをもとに自分が避難する避難所や避難経路を確認する。		○ 全体的話合いで学習したことをふまえて振り返るように助言する。 ○ 学習したことを家庭で確かめたり話しあったりすることを確かめる。		

※津波避難ビル等…津波浸水予想地域内において、地域住民等が一時もしくは緊急避難・退避する施設（人工構造物に限る）をいう。なお、津波による浸水の恐れのない地域の避難施設や高台は含まない。

注) 呉市では、洪水、高潮、津波などの浸水による災害時の危険を回避するために、住民、滞在者などが中・高層建物の屋内・屋上・廊下などに一時的に避難する施設を「一時避難施設」としている。

一億までの数

関連項目	Ⅲ 地域の防災対策を知る	A 過去にあった地域の災害について知る			
指導する学年	3 学年	教科・領域	算数	時数	4 / 1 1
目 標	一万までの数の仕組みを基に、一億までの仕組みを考える。 一億までの数について、数の相対的な大きさの見方をする。				
防災教育の視点	過去の災害資料 (6.29) 豪雨災害から、被害の大きさを知る。				
指導資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 6.29 土砂災害(速報版) 				
学習の展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 問題文を読んで、題意をつかむ。 めあての確認をする。 			<ul style="list-style-type: none"> 百万を 10 倍した数は千万であることをおさえる。 千万を 10 倍した数は一億であること、100000000 と書くことを知らせる。 大きな数は「〇万」のように書くと便利であることを知らせる。 問題を通して、千万の位までの仕組みについての理解を深める。 問題を通して、数の相対的な大きさの見方についての理解を深める。 ★ 練習問題を通して、平成11年 6.29 豪雨災害について知る。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> 一億までの数の仕組みを考える。 				
	<ul style="list-style-type: none"> 練習問題をする。 				
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> 一億までの数の仕組みをまとめる。 			<ul style="list-style-type: none"> 分かったことをノートまとめさせる。 	

はたらく犬について調べよう「もうどう犬の訓練」

関連項目	Ⅲ 地域の防災対策を知る	C 公的援助について知る			
指導する学年	3 学年	教科・領域	国語	時数	12 / 12
目 標	働く犬について詳しく知りたいことを調べ、リーフレットにまとめるために必要な情報を読み取り、要約することができる。				
防災教育の視点	災害救助犬について調べる。(土砂災害等で行方不明になった被災者を探す犬)				
指 導 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・平成 26 年広島市土砂災害で救助犬が活動している写真 				
学習の展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあての確認をする。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書をもとに、働く犬についてリーフレットを作ってきたことを確認する。 	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて はたらく犬について、まとめたリーフレットを読み合い感想を交流しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんな手段で調べたり、どんな本を参考にしたりしたのか交流する。 ○ まとめたリーフレットについて紹介し合う。 ○ 仲間から出た意見をもとに修正を加えて完成させる。 			<ul style="list-style-type: none"> ★ 平成 26 年広島市土砂災害の時に、活躍した救助犬の写真について補足する。 ○ 紹介の後、聞き手はリーフレットに気付きを書いた付箋を貼る。 ○ 要約文がだいたいな言葉や文を使って、分かりやすい内容となっているか確認する。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめをする。 				

防災センターの見学

関連項目	I 呉市で起こりやすい自然災害を知る	A 自然災害の種類を知る（土砂災害、洪水災害、高潮災害）			
指導する学年	4 学年	教科・領域	社会	時数	3, 4 / 9
目 標	防災センターを見学し、消防署で働く人の様子や、消防自動車のひみつについて調べること、消防署が災害から人々を守るために工夫していることを理解する。				
防災教育の視点	通報が入ると、どこからどのようなところに連絡が行くのか知る。 自然災害について知る。				
指導資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 呉の社会科学習 				
学習の展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防署の見学で調べたいことを話し合い、見学への見通しをもつ。 ○ めあての確認をする。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学び方のコーナー」をもとにして、施設の見学の仕方を確認する。 	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> めあて 消防署の人たちは、どのようなことをしているのか調べよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防署を見学し、消防署で働く人の様子や、道具・消防自動車のひみつについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 煙幕体験 ・ 地震体験 ○ 消防署で働く人が、火災の消火活動の他にも様々な活動をしていることを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急活動 ・ レスキュー活動 ・ 自然災害での活動 			<ul style="list-style-type: none"> ★ これまで呉市で起こった自然災害について説明する。 ★ 指令センターの役割を知る。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> まとめ 消防署の人たちは、火事が起きたときには素早く対応し、また日頃から火事に対応するための訓練を行っている。 </div>				

水泳運動「浮いて進む運動」

関連項目	Ⅱ 対処方法を考える	D 洪水や高潮から身を守る方法を知る			
指導する学年	4 学年	教科・領域	体育	時数	5, 6 / 10
目 標	プールの底や壁を蹴った勢いを利用して進むけ伸びをしたり、浮いて呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎをしたりすることができるようにする。				
防災教育の視点	洪水や高潮から身を守るために、泳ぐときの呼吸法を知る。				
指導資料					
学習の展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	○ 準備運動をする。			○ バディで並ぶことができるようにする。	
展開	○ めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて 呼吸をしながら、ばた足泳ぎやかえる足泳ぎで泳ごう。 </div> ○ 水慣れをする。 ○ 浮いて進む運動をする。 ・ け伸び ・ 初歩的な泳ぎ（ばた足泳ぎ、かえる足泳ぎ）			○ 自分の課題にあった場で練習させる。 ○ バディでどこを見てほしいか伝え合い、お互いを見ながら練習をさせる。 ○ どのように体を動かせばよいか、動きのポイントが具体的に分かりやすくイメージできる言葉がけをする。	
まとめ	○ 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> まとめ 手や足の動きと呼吸のタイミングを合わせる。 </div>			★ 呼吸をしながら初歩的な泳ぎをすることができる。	

電気のはたらき

関連項目	II 対処方法を考える	F 災害に対する日頃の備えについて知る			
指導する学年	4 学年	教科・領域	理科	時数	7 / 10
目 標	乾電池のつなぎ方を変えると豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解する。				
防災教育の視点	自然災害時に必要な、懐中電灯の仕組みについて知る。				
指導資料	・教科書				
学習の展開	学習活動			指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の活動で気付いたことや調べてみたいことを話し合い、モーターを速く回すためにはどうすればよいか学習課題へつなげる。 ○ めあての確認をする。 				
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて モーターをもっと速く回すためには、どうすればよいか考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 乾電池 1 個とモーター、検流計を導線をつなぎ、モーターの回る速さと電流計の強さを確認する。(基準となる、回る速さと電流の強さを確認) ○ 2 種類の乾電池 2 個のつなぎ方と検流計の使い方を確認する。 ○ 乾電池 2 個とモーター、検流計を導線をつなぎ、モーターの回る速さと電流計の強さを調べる。 ○ 乾電池の数、乾電池 2 個のつなぎ方、モーターの回る速さ、電流の強さを記録する。 ○ 結果を発表する。 ○ それぞれのつなぎ方の電流の強さについて話し合う。 ○ 2 通りのつなぎ方を「直列つなぎ」と「並列つなぎ」ということを理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 回っているプロペラに手を触れないようにさせる。 ○ 導線で乾電池だけをつなぐと、強い電流が流れて熱くなるので、やってはいけないことを確認する。 ○ 乾電池 2 個のつなぎ方は 2 通りあることを理解させる。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ モーターを速く回すためには、直列つなぎをするとよい。</p> </div>			<ul style="list-style-type: none"> ★ 懐中電灯の多くは、「直列つなぎ」であることを確認する。 	

風水害からくらしを守る

関連項目	Ⅱ 対処方法を考える	F 災害に対する日頃の備えについて知る			
指導する学年	4 学年	教科・領域	社会	時数	1 / 1
目 標	風水害からくらしを守るための市の取組や地域の人々の工夫や努力を理解する。				
防災教育の視点	風水害からくらしを守るために、どのような取組をしているのか知る。				
指 導 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 11 年 6.29 豪雨災害写真集崖崩れ災害編 ・平成 22 年 7 月豪雨による広島県の土砂災害写真 ・高潮・津波災害ポータル広島平成 16 年台風 16 号・18 号による高潮被害写真 ・高潮・津波災害ポータル広島平成 3 年台風 19 号による高潮被害写真 				
学習の展開	学習活動		指導上の留意点		
導入	○ 資料から風水害の恐ろしさを読み取り、めあてをつかむ。		★ 被害写真を提示することで、呉市で起きた自然災害に関心をもたせる。		
展開	○ めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 風水害からくらしを守るために、呉市がどのような取組をしているか調べよう。</div> ○ 呉市が進めてきた風水害の取組について調べる。 ①改修工事 ②情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・海拔表示板の設置 ・呉市防災情報メール配信 ・緊急速報メール ・防災行政無線 ・広報車による巡回 ・ハザードマップの作成 ③自主防災組織の結成		★ 呉市防災情報のホームページを参考にしながら、自分たちの地域と照らし合わせながら考えさせる。 ○ 調べて分かったことや根拠をもとにした自分の考えなどを書き出し、それをもとに小グループで話し合ったり、全体で話し合ったりする場を設定する。		
まとめ	○ 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まとめ 呉市は風水害からくらしを守る多くの取組をしている。わたしたちも、「自ら守る」ため、風水害に備えておくことが大切である。</div>		○ 風水害からくらしを守るための呉市の取組をまとめ、自分にできることを考えさせる。		

※風水害…強風と大雨および高潮、波浪により起こる災害の総称。